

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
安城桜井地区

平成26年7月

愛知県安城市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	生活環境改善度	%	21	26	27	確定 見込み ●	○	あり - なし -	27	H26年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	「土地区画整理事業(安城桜井駅周辺地区)」が着実に進捗していることや「西徳用水上部利用」の事業による遊歩道の整備により、地区内の生活環境が改善したものと考えられる。
指標2	交流活動者増加率	%	100	103	110	確定 見込み ●	○	あり なし	109	H26年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	「土地区画整理事業(安城桜井駅周辺地区)」が着実に進捗し、宅地供給されたことや公園(とうみづか公園、桜井南公園、1号緑地)や駅前広場などが整備されたことから、当該地区の魅力が向上したため、交流活動者が増加したものと考えられる。
指標3	交流空間愛着度	%	100	100	100	確定 見込み ●	○	あり なし	100	H26年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	とうみづか公園、桜井南公園の整備に際して、住民参加によるワークショップを開催し、意見交換を通して計画を作成したことにより、地域住民の新たな公園に対する愛着が生まれ、交流空間愛着の維持に繋がったものと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	交流活動者数(桜井福祉センターの延利用者数)	人	57,296	/	79,360	確定 見込み ●	/	/	96,939	H26年7月	/	過去からの周知が実を結び、地域住民主体でイベントなどを実施されたことで、多目的室の利用が大幅に向上したため。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	「土地区画整理事業(安城桜井駅周辺地区)」が着実に進捗し、地区内の人口が増加していることが、桜井福祉センターの利用者数の増加に寄与しているものと考えられる。また、桜井福祉センターを活用したイベントが行われているほか、地域住民の憩いの場となるさくらホールや多目的室などが積極的に活用されており、これらの取組みが、新旧住民を含めた多世代交流に繋がっているものと考えられる。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/	H 年 月	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	・快適で利便性の高い住環境の形成	・継続的な土地区画整理事業の推進を図るため平成26年度に本市の別の社会資本総合整備計画へ移行を実施した。 ・さらに平成27年度からの新規の社会資本総合整備計画において、安城桜井駅周辺土地区画整理事業を要素事業として位置づけた計画策定を実施した。 ・あんくるバスの路線や運行本数などの見直しによる公共交通機関の機能強化を実施した。	・継続的な土地区画整理事業の推進につながっている。 ・あんくるバス(桜井線)の増便に繋がったり、路線の見直しからダイヤの遅れ解消に期待が出来る。	・新旧住民や多世代住民が快適にそして持続的に交流できる環境を充実させるため土地区画整理事業の早期完了を目指す。
	・新たな地域コミュニティの場の創出 ・地域住民による適切な維持管理	・新たな地域コミュニティの場となる公園整備を検討した。 ・平成27年度からの新規の社会資本総合整備計画において、2公園を要素事業として位置づけた計画策定を実施した。	・新たな地域コミュニティの場となる公園の継続的な整備につながっている。	・整備する公園について、住民主体の維持管理活動を実施していくための新たな公園愛護会の設立や設立に繋がる公園のワークショップの実施していく。 ・整備する公園をイベント活動などで利用し、さらなる多世代交流を図る。
	・環境に配慮した誰もが住みよいまちづくりの促進	・環境共生型仮移転住宅を地権者に仮住居として提供することで、土地区画整理事業の円滑な進捗を図るとともに環境に配慮した住宅や設備の導入を促進した。 ・さらに利用者の声を公表し、仮住居を使用していない地域住民へも環境に配慮した住宅や設備の導入を促進した。 ・土地区画整理事業区域内に建築される方々に、安城桜井駅周辺地区まちづくり委員会が作成したまちづくり憲章のパンフレットを提供し、まちなみ景観ルールや緑化の補助制度の周知を実施した。	・環境共生型仮移転住宅に入居された方が、環境負荷軽減に配慮した住宅の良さを体感するとともに、新たに建てる自身の住宅の参考となっている。 ・まちなみ景観ルールの趣旨に基づく個別住宅の建築や大規模開発(40戸全てにシンボルツリーの設置を義務付け)が進んでいる。	・環境共生型仮移転住宅に入居された方のアンケートを継続的に実施・公表していくことで、環境負荷軽減に配慮した住宅の良さの周知を図っていく。 ・安城桜井駅周辺地区まちづくり委員会等による取り組みへの支援を継続していく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	公園などの活用促進	・桜井南公園では、下記を実施した。 植樹祭(H26.3) ・桜井駅前公園(1号緑地)では、下記を実施予定である。 桜井夏祭り(H26.8) 桜井スタンプウォークラリー(H26.11) 桜井軽トラ市(H26.11)	・区画整理区域内の住民を中心とした多世代の参加者があり、新旧住民や多世代が交流する機会創出につながった。	・継続して新旧住民や多世代が交流する場となるように、桜井スタンプウォークラリーや桜井軽トラ市などの各種イベントを実施していく。 ・安城桜井駅周辺地区まちづくり委員会等による取り組みへの支援を継続していく。 ・土地区画整理事業完了後も新旧住民や多世代が交流できるようまちづくりの体制を整えていく。
	防災関連での活用の促進	・災害時における地域住民の安全・安心確保のため、公園などの地域防災計画における一時避難地の指定に向けた地域防災計画の見直し協議を実施した。	・平成26年度中に地域防災計画を見直し、公園などを一時避難地として指定する方向性へつながった。	・公園などを防災訓練の場所として活用していく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項